

会 議 議 事 録

審議会等の名称	平成29年度 第1回磐田市在宅医療介護連携推進協議会
担当部課名	健康福祉部 健康増進課
会議の開催日時	平成29年6月28日(水) 午後7時00分～9時00分
会議の開催場所	磐田市総合健康福祉会館(^{あい} iプラザ)2階 ふれあい交流室1
出席者	委員：15名中14名出席 事務局：11名中10名出席
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状交付 3 部長挨拶 4 委員自己紹介 5 会長・副会長選出 6 会長挨拶 7 議事・協議 <ol style="list-style-type: none"> (1) 各職能団体・施設等の現状・課題 (2) 課題に対して各団体・職種で取り組めそうなこと 8 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 看護小規模多機能型居宅介護事業所視察報告 (2) 平成29年度事業の予定について (3) 磐田市医師会アンケートについて 9 その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第2回協議会 日程 10 閉会
配付資料等の件名	<ul style="list-style-type: none"> ○事前配布資料 <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・各職能団体・施設等における現状と課題 まとめ ○当日配布資料 <ul style="list-style-type: none"> ・磐田市在宅医療介護連携推進協議会要綱 ・磐田市在宅医療介護連携推進協議会名簿(平成29・30年度) ・各職能団体・施設等における現状と課題 まとめ ・看護小規模多機能を視察して ・在宅医療・介護連携の推進(平成28年度実績・平成29年度予定) ・2016年12月住民アンケート調査

1 . 開会	健康増進課健康増進課長
2 . 委嘱状交付	委員 15 名に交付
3 . 部長挨拶	<p>日頃のご協力のお礼。</p> <p>袋井市へ生活支援フォーラムを聞きに行った。その中で、「最期亡くなる時、どこで亡くなりたいか?」「自宅」を選んだ人は半数以上。「今すぐにそれができるか?」と聞かれると数が少なくなった。</p> <p>今回の任期で、施設の方にも委員になっていただいた。住み慣れた地域で、最期まで自分らしく生きるために、施設も住まいとして、含まれるということからお願いした。</p> <p>生の声の情報共有をお願いしたい。</p>
4 . 委員自己紹介	<p>委員 訪問診療に現在 2 人行っている。先日、看取りが 1 件あった。</p> <p>委員 平成 27 年度から委員。</p> <p>委員 県歯科医師会に出向中。在宅訪問は 1 名。</p> <p>委員 6 月から薬剤師会会長。モデル事業を受け、在宅訪問の準備中。</p> <p>委員 介護保険と同時に訪問看護を始め、18 年目。そのころと比べ、認知症、がん患者さんが増え、看取りもするようになってきた。</p> <p>委員 地域包括支援センターは、65 歳以上の高齢者の相談窓口。</p> <p>委員 ケアマネジャーが感じていることを伝えていきたい。</p> <p>委員 介護保険と同時に訪問介護を始めた。看取りもたくさんした。地域とつながって情報発信したい。</p> <p>委員 医療・介護の現場も経験がない。ここは学びの場。学生に伝えていきたい。</p> <p>委員 地域医療いわたが発足して 2 期 4 年目。</p> <p>委員 地域医療支援室を通じて、情報共有していきたい。</p> <p>委員 社会福祉法人として、地域で何ができるか考えていきたい。</p> <p>委員 施設開設が平成 12 年。対象者も変化してきた。現在、居宅・施設ケアマネ、相談員の役割を担っている。</p>

委員	<p>サ高住、グループホーム、小規模多機能型居宅介護、居宅介護支援事業所が同じ建物の中にあり、総合的に地域で何ができるか追求したい。</p>
5. 会長・副会長 選出	<p>互選により、決定。</p>
6. 会長挨拶	<p>顔の見える関係づくりは進んできたと思うが、どこも課題なのが一部は熱心だが、そこそこの部類とまったく、といった部類に分かれる。連携の会議は、行政・包括・磐田市医師会・病院等で進められている。こういったイベントには積極的に参加がある。先日、中部地域包括支援センターで事例についてのグループワーク勉強会があったが、実際の作戦会議のようなものが具体的でよいと思う。これが、他の色々なエリアに広がっていくといいと思っている。</p>
7. 議事・協議 事務局	<p>(1) 各職能団体・施設等の現状・課題 「各職能団体・施設等における現状と課題 まとめ」について説明。</p>
委員	<p>様々な会議等に参加するのは同じ顔ぶれである。平成 28 年 4 月に在宅専門医が開業したことにより、かかりつけ医の対応が減少している状況。 在宅医が少なく、各地域にまんべんなくいるわけではない。できるだけ各地域に広げたい。</p>
委員	<p>現在は情報収集が中心。在宅がすぐにできるものではない。相談から始めていきたい。</p>
委員	<p>モデル事業を受け、在宅訪問に取り組む。在宅可 31 施設で 50 件に取り組む。色々な場で紹介していただけるよう、お願いに回っている。 薬剤師の課題として、介護の現場を知らない、介護保険証をみてケアマネジャーさんがどこ、といったことも思わない。医師は処方箋があるのですぐにつながるが、介護認定審査員を経験する薬剤師を増やしたい。</p>
委員	<p>訪問看護師も差があり、不安定な状況。多職種連携の前に診療所や介護施設等の看護師がつながる必要性があり、ナースの交流会を企画した。 ケアマネさんからも話があると思うが、指示書の問題はある。退院時につながらず、帰ってきてからケアマネがつけようとする、状態が悪くなってからということが多く、まだまだ予防的には使われていない。できれば退院時につながる方がよい。</p>

委員	<p>市民への意識調査の結果からも、包括支援センターの認知度の低さが課題。認知症のことで、どこに相談してよいかわからない、という回答も多く身に降りかからないとわからない実態がある。</p> <p>また、地域ケア会議を行っているが、先日の事例勉強会のような形で作戦会議のように多職種でケースの支援について話が出来たらいいのではと感じる。地域ケア会議のやり方を考えていければ。</p>
委員	<p>通院と通所ができていれば訪問看護は必要ないという医師もいる。指示書を書いてもらえないとつながらないが、先生たちに上手に伝えられていないということもあるか。</p>
委員	<p>訪問看護を必要と主治医が発言している場合、ケアマネがFAXする必要があるのか。必ずしも必要でないと思うが。</p>
委員	<p>やり取りを書面で残しておきたいということもあると思う。</p> <p>指示書はFAXで依頼している。医師によってさまざまだが、まだ予防的利用は少ない。</p>
委員	<p>今回の会議の前に、訪問介護事業所の管理者で集まって、みんなで話をした。今後もテーマを決めて集まっていこうと話をしている。災害時の対応をどうするかといったことも話していこうと考えている。</p> <p>共通で出た話が、日々現場に追われているので、連携が取りにくい、ということ。あとは、救急車を呼ぶまでもないが、ちょっと具合が悪くて相談したい、といったときに訪問看護が入っていなかったり、入っていても24時間の契約を結んでいなかったりして、相談できないとき、子供なら電話相談があるようだが、高齢者はないので困って訪問介護に相談があり、結局救急車を呼んだ方がということになる。</p>
委員	<p>災害時については、福祉避難所としての役割があるが、実際には職員が出勤できるかわからない面があり、そういった意味では訪問介護の方と一緒にできる部分もあるかもしれない。</p> <p>医療報酬と介護報酬のわかりにくさもあり、ショートステイで結果的に看取りになった場合とか、嘱託医に来ていただくが、報酬がとれないのでは、といったことがある。</p>
委員	<p>老人保健施設の位置づけについて、国の方針でも、在宅復帰型としての位置づけだが、すべてを移行することは困難で、住民からも「ここにずっといられますか」と聞かれる。本来は、回復期でリハビリをし、老健で3か月リハビリをして自宅に戻るのだが、重度の方も入所してくるので看取りもして報酬がつく。2つの役割がある。</p> <p>在宅復帰させるということは、入所者の入れ替わりが多く、情報収集等と事務が多くなり負担が増す。</p>
委員	<p>事業所に看護師がいるが、医療的な面について不安は常にあり、フ</p>

<p>副会長</p> <p>8 . 報告事項 委員</p> <p>事務局</p> <p>会長</p> <p>9 . その他</p> <p>5 . 閉会 事務局</p>	<p>ォローしていただけるとありがたい。</p> <p>市の方針をはっきりと示さないと、住民もわからない。</p> <p>(1) 看護小規模多機能型居宅介護事業所視察報告資料：看護小規模多機能を視察して.....</p> <p>市の方向性として、施設で看取るのであればなくてよいと思うが、在宅でということであれば、医療が必要な方のレスパイトの機能も果たし、あるといいと思う。</p> <p>(2) 平成 29 年度事業の予定について当日資料：在宅医療・介護連携の推進.....</p> <p>(3) 磐田市医師会アンケートについて 訪問診療の件数、看取りの実績について調査。施設への訪問診療の件数が多く、一部の先生で担っていただいている。 看取りは自宅が多く、施設では少ない。</p> <p>(1) 第 2 回協議会日程について 平成 29 年 9 月 27 日 (水) 19:00 ~ 20:30 に決定。</p>
<p>備 考</p>	